

第 28 回

産学連携によるオフセット商品企画

～SDGs Re DESIGN CONTEST～

中部経済産業局では、次代を担う若者の意識啓発や新たな需要の創出を目的に、産学連携によるオフセット商品の企画・開発に取り組んでいます。今般、地元企業と専門学校が連携し、リデザインプロジェクト※による「未利用素材を使用するデザインコンテスト」が開催されましたので、ご紹介させていただきます。

※リデザインプロジェクトとは未使用資材を使って、デザイン学校の学生の方たちがデザインしたものを、障害者支援施設で生産し、店舗等で販売する貢献活動を目的としたプロジェクトです。

・「SDGs Re DESIGN CONTEST」

＜コンテストテーマ＞

「お買い物で地球を、みんなをハッピーに！ SDGs」

リデザインプロジェクトでは「エシカルなものづくり」を念頭に、「地球」「若者」「障がい者」が繋がり、2015年に国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の目標達成に貢献する取り組みをしています。

今年度は「SDGs Re DESIGN CONTEST」と題し、繊維商社や企業等から規格外製品や端材などの循環資源をご提供いただき、それらを使用して、デザイン学校の学生が「マイバッグ」または、マイバッグに付ける「オーナメント」をデザインするコンテストを実施致しました。コンテストのテーマは「お買い物で地球を、みんなをハッピーに！ SDGs」としました。

ESD（持続可能な開発のための教育）の考え方を取り入れ、事前に学生はSDGsや生活における地球温暖化への影響、カーボン・オフセットを学習しました。また、今後の生産を想定し、障がい者の方々を中心とした作り手の得意なことについても学びました。これらの成果として、温暖化対策のアイデアや、作り手側への配慮を織り交ぜた、オリジナルのマイバッグ・オーナメントが170点近くも集まりました。

審査会を経て、数ある作品の中から、リデザインプロジェクト大賞（1作品）、企業賞（9作品）、入選（8作品）として18作品が選ばれました。その表彰式を、2019年12月3日（火）ヒルズウォーク徳重にて行いました。それぞれ学生のアイデアが盛り込まれており、環境にやさしく、デザイン性の溢れる作品ばかりでした。大賞作品に

については今後商品化を目指し検討を進めていきます。

未来を生きる若者たちに、今ある地球を未来に残すため、何をしなければならないのかを考えるきっかけをつくり、お買い物を通じて繋がりがい、地域貢献・社会貢献できるコンテストになったのではないのでしょうか。



(表彰式集合写真)

なお、本企画の入賞作品一覧は次ページをご参照ください。



【ソフト支援事業実施機関】
株式会社ウェストボックス
Tel : 052-265-5902 Fax:052-265-5903
E-mail: info@wastebox.net

中部Jクレ コラム バックナンバー
<http://www.chubu.meti.go.jp/d34j-credit/platform/column/column.html>

過去の産学連携に関するコラムはこちらから

[第21回] 産学連携によるオフセット商品開発
<https://www.chubu.meti.go.jp/d34j-credit/platform/column/20180312column.pdf>
[第25回] 産学連携によるオフセット商品開発
<https://www.chubu.meti.go.jp/d34j-credit/platform/column/20190327column.pdf>